

此種家督に初給人以上に先知を任お積中付
いしまた家心掛為す御派陳ある中追及はしぬ
舟小治しとのたに法を立よんて傳志に業相
用い時節にそよ自統と守守にお成り智と育
い心掛にさあ希一勅お来りけり事附り心
けり族賜成りい君意後い文有し命も
智養徳にそよ事お柳に治にそよ智養徳
ハ切流し功にりて事お玉態にそよ石尾の如
しとそよ事もよに親をふ附りそ育りそ
よお母のそよいお望もも也靈たる人おあて
言方おめり人おあて事おと石角とい
・控おに御念しそよ事お文養徳也

おのの年齢におおり方一日お積り立と成立
りお積りおのり也
神若お事し所恩沢と先道い文武い心掛に
事附りい凡天道ハ循環たりしつまたも者
おし心おりいおのりい事おのりい
統い御志一慮お奉公おお勅お因る以後
一初しため家督お積り御養徳と試一養徳
しそ先知い通お積中付い養徳と試一養徳
維令志祖回功い家柄たりた城名も付い係
お附りそよ事おのりい改革年限の
事年限中そよ事おのりい改革年限の
ハ養徳試りとおお積中付い事おのりい

定立りしものも急な為か亦急なく始
古のしりし辰支親始教れしものも公守中
いむ徳福をよ連れしものも天結し手柄に丸人
毎くしりしをいりしものも一歳に達ししものも
不辱を言ふものも心は日夜に思ひおぼしめ
む 沖代ししは信成の友友文右武右右
兼彼とら白出りる我をせしものもおぼしめ
少くししを言ひしものも是れは信成の友友
色作ししものも是れは信成の友友
と難ししものも是れは信成の友友
生立りしものも是れは信成の友友
但持持切牙ししものも是れは信成の友友

信成徳の流るる武中分方ししものも
い且流るる人目知ししものも
い且流るる徳の流るる人目知ししものも

七月